

2014年5月25日

ブライアン・ブルエット牧師

クリスチャン経済における七本の矢 - 4

OICへようこそ。今日お越しいただき、たいへんうれしく思います。今私たちは、「クリスチャン経済における七本の矢」と題して7回にわたるシリーズ説教から学んでいます。すでにお伝えしましたが、私が皆さんにお仕えする牧師として目指すのは、この教会が神の愛を体験できる場所、愛されていると感じられる場所となるようお手伝いすることです。この教会が聖書の教えに根差したキリスト中心の教会となるよう、私は全力を尽くしたいと思います。「矢」にたとえてお話をする理由については、イザヤ書49章のみことばを皆さんにご紹介しました。

イザヤ書 49:2,3 49:2 主は私の口を鋭い剣のようにし、御手の陰に私を隠し、私をとぎすました矢として、矢筒の中に私を隠した。 49:3 そして、私に仰せられた。「あなたはわたしのしもべ、イスラエル。わたしはあなたのうちに、わたしの栄光を現す。」

矢は、イエスが私たちに与えてくださった教えです。クリスチャンとして歩むうえで、これらの教えが必要です。今日は四本目の矢を見ていきます。これまで、祈りの必要性和価値、励ましを受ける教会の必要性、そして、教会が不当に互いを裁いてはいけないことを学んできました。今日の四本目の矢は、聖書に則ってあらゆるものを管理する教会になる、という内容です。今日の聖書箇所は箴言 3:1-10 です。

箴言 3:1-10 3:1 わが子よ。私のおしえを忘れるな。私の命令を心に留めよ。 3:2 そうすれば、あなたに長い日と、いのちの年と平安が増し加えられる。 3:3 恵みとまことを捨ててはならない。それをあなたの首に結び、あなたの心の板に書きしるせ。 3:4 神と人との前に好意と聡明を得よ。 3:5 心を尽くして【主】に拠り頼め。自分の悟りにたよるな。 3:6 あなたの行く所どこにおいても、主を認めよ。そうすれば、主はあなたの道をまっすぐにされる。 3:7 自分を知恵のある者と思うな。【主】を恐れて、悪から離れよ。 3:8 それはあなたのからだを健康にし、あなたの骨に元気をつける。 3:9 あなたの財産とすべての収穫の初物で、【主】をあがめよ。 3:10 そうすれば、あなたの倉は豊かに満たされ、あなたの酒ぶねは新しいぶどう酒であふれる。

聖書に則ってあらゆるものを管理する教会になる。

皆さんはきっと、私がこれからお金の話をするのだと思っておられるでしょう。もちろん、金銭管理も管理の一部です。けれども、私たちの人生にはもっと多くの側面があります。今日のメッセージは、人生の管理についてだと考えてください。これから、聖書に則った人生管理を実践できる3つの分野をご紹介します。まず一番難しいものから取り組みましょう。

#1 聖書に則った宝の管理を実践する。

箴言 3:9,10 3:9 あなたの財産とすべての収穫の初物で、【主】をあがめよ。 3:10 そうすれば、あなたの倉は豊かに満たされ、あなたの酒ぶねは新しいぶどう酒であふれる。

富が金銭の形で与えられるとは限りません。フィリピンの島で牧会していたころ、教会の扉の両側にふたつの大きな小屋がありました。片方はニワトリ小屋で、もう片方は豚小屋でした。その教会の会衆はお金を持っていませんでしたから、什分の一の捧げものの際に、家畜の十分の一を捧げていたのです。教会に定期的に通ったことのある人なら、什分の一の捧げものについてのメッセージを聞いたことがあると思いますので、ここでは、地域教会を支える必要性を皆さんに改めてお知らせするにとどめておきましょう。マラキ書 3:8-10 がわかりやすく教えてくれます。

マラキ 3:8-10 3:8 人は神のものを盗むことができようか。ところが、あなたがたはわたしのものを盗んでいる。しかも、あなたがたは言う。『どのようにして、私たちはあなたのものを盗ん

だでしょうか。』それは、十分の一と奉納物によってである。3:9 あなたがたはのろいを受けている。あなたがたは、わたしのものを盗んでいる。この民全体が盗んでいる。3:10 十分の一をことごとく、宝物倉に携えて来て、わたしの家の食物とせよ。こうしてわたしをためしてみよ。——万軍の【主】は仰せられる——わたしがあなたがたのために、天の窓を開き、あふれるばかりの祝福をあなたがたに注ぐかどうかをためしてみよ。

聖書の中で、神を試すよう私たちに勧めるのはこの個所だけです。ここにある宝物倉とは教会を指します。私たちは週の第一日目である日曜日に什分の一の捧げものをささげます。なぜそうするのでしょう。それは、教会の維持のためです。什分の一の捧げものとは、収入の十分の一です。「そんなことをして何の得になるのか」と思う人もいるかもしれませんが、神はすでに私たちの想像以上に祝福してくださっています。私たちは王の子とされました。天では、大きな家が私たちを待っています。天の道は金が敷き詰められ、そこには痛みや悲しみはありません。神は、私たちの教師、導き手、慰め主として聖霊を送ってくださいました。なんとすばらしいことでしょうか。この中に、経済的に困っている人はいますか。ぜったいにうまくいく解決法をお知らせしましょう。知りたいですか。3つの簡単な数字に従えば、必ず金銭面がうまくいき、同時に神をたたえ、神の教会に忠実を尽くすことができます。メモのご用意はいいですか。

10-10-80

最初の10は神への捧げもの、次の10は自分のために使うお金、残りの80が生活費です。99を生活費に充てて、神のためにほとんど何も残さないという人があまりにも多くいるようです。みことばから、金銭を愛することが諸悪の根源だということを改めて教えられます。

テモテ第一 6:10 金銭を愛することが、あらゆる悪の根だからです。ある人たちは、金を追い求めたために、信仰から迷い出て、非常な苦痛をもって自分を刺し通しました。

金銭を愛すること自体によって悪が私たちのうちから発するのでしょうか。それとも金銭のもたらす力なんでしょうか。いずれにせよ、お金は私たちの命を一日たりとも延ばすことはできません。詩篇 139:16 には、神がすでに私たちの人生の日数を定められたと記されています。私たちの富について、もうひとつ次のようなみことばがあります。マタイ 6:24 は、神と富との両方に仕えることはできないと語ります。

マタイ 6:24 だれも、ふたりの主人に仕えることはできません。一方を憎んで他方を愛したり、一方を重んじて他方を軽んじたりするからです。あなたがたは、神にも仕え、また富にも仕えるということはできません。

どちらを大切にするか、各々が決めなければなりません。私たち夫婦は、人生の決断をするときの判断材料としてお金は重視しないことを決めていました。新婚当初、私たちは共働きで、家を買おうと思いました。そのときは誤って金銭を重要視した決断をしてしまい、家族は私たちふたりと猫一匹だけなのに、5LDKの家を購入しました。主寝室にわたしたちと猫のドミノが暮らし、あとの4部屋は空室でした。きっと神は「まさか」と思っておられたことでしょうか。宝の管理についての最後のみことばはルカ 12:34 です。

ルカ 12:34 あなたがたの宝のあるところに、あなたがたの心もあるからです。

#2 聖書に則った時間の管理を实践する。

コロサイ 4:5 外部の人に対して賢明にふるまい、機会を十分に生かして用いなさい。

時間のすばらしいところは、すべての人に平等に与えられていることです。一週間に与えられた時間は皆同じです。私たちは与えられた時間を神の喜ばれるかたちで割り振っているでしょうか。私の時間の使い方を3つご紹介しましょう。

A 神のみことばを学ぶ時間として用いる。

テモテ第二 2:15 あなたは熟練した者、すなわち、真理のみことばをまっすぐに説き明かす、恥じることの無い働き人として、自分を神にささげるよう、努め励みなさい。

それは牧師だけだと言う人もいるかもしれませんが。これは牧師にとっても、誰にとっても良い時間の過ごし方です。もうひとつ役に立つみことばがあります。

ペテロ第一 3:15 むしろ、心の中でキリストを主としてあがめなさい。そして、あなたがたのうちにある希望について説明を求める人には、だれにでもいつでも弁明できる用意をしていなさい。

「人にイエスのことを話す準備をしておかないといけないのですか」と思っている人もこの中にきつとおられるでしょう。

B 祈りの時間として活用する。

テサロニケ第一 5:17 絶えず祈りなさい。

もちろん、一日 24 時間密室で祈ることを神は求めておられません。私たちには生活があります。ただし、人生を歩む中で、常に神とのコミュニケーションが取れると思いたいものです。そうするには、祈りの中で神に耳を傾けることが必然的に伴います。また、祈りの中で神を称えることも含まれます。祈りには、他の人のために祈るとりなしもあります。自分自身の悩みや不安についてももちろん祈ります。クリスチャン著者オズワルド・チェンバーズは、困難にではなく神に目を留めて祈りなさいと語りました。素敵なお言葉です。数週間前に祈りについてお話しましたので、祈りについてはこのくらいにしておきましょう。

C 人に影響を与えるために時間を活用する。

マタイ 5:14-16 5:14 あなたがたは、世界の光です。山の上にある町は隠れる事ができません。5:15 また、あかりをつけて、それを柵の下に置く者はありません。燭台の上に置きます。そうすれば、家にいる人々全部を照らします。5:16 このように、あなたがたの光を人々の前で輝かせ、人々があなたがたの良い行いを見て、天におられるあなたがたの父をあがめるようにしなさい。

私たちはこの世に溶け込むことはできません。カメレオンのように周りの環境に合わせて隠れることはできないのです。神が私たちに求められるのは、神の望まれる動きを促す人となることです。私たちが何もしないなら、人はどのようにして主であり救い主であるイエスを知ることができるでしょう。イエスが私たちの人生を変えてくださったことを、何もせずに表すことができるでしょうか。私たちは神の使節となるようにも召されています。

コリント第二 5:20 こういうわけで、私たちはキリストの使節なのです。ちょうど神が私たちを通して懇願しておられるようです。私たちは、キリストに代わって、あなたがたに願います。神の和解を受け入れなさい。

聖書に則った時間の管理者となるための原則をお話しました。それぞれ生活がありますから、子育てや仕事、家庭生活そっちのけでこれら 3 つのことをするわけにはもちろんいきません。とは言え、聖書に則った時間の管理を实践するうえでこれらを取り入れるなら、神をあがめることになります。

#3 聖書に則った賜物の管理を实践する。

コリント第一 4:1,2 を見てみましょう。

コリント第一 4:1,2 4:1 こういうわけで、私たちを、キリストのしもべ、また神の奥義の管理者だと考えなさい。 4:2 この場合、管理者には、忠実であることが要求されます。

神は、私たちが神から与えられたものすべてについて信頼できる管理者であることを要求されます。そこには、与えられた賜物や才能も含まれます。今日の聖書箇所はこのようなみことばがあります。

箴言 3:5 心を尽くして【主】に拠り頼め。自分の悟りにたよるな。

私たちは時折、自分には才能も賜物もない、神の御国の一員として取るに足りない者だと思ってしまうことがあります。これは、自分の悟りに頼っていることです。神は信用できるお方なのに、神を信頼していないのです。神に間違いはありません。ですから、あなたという人間は間違いではありません。自分には特別な才能や賜物がないので神に用いられることはできないと誰かが言うたびに、罰金 1000 円徴収したら、私はこの世で一番の大金持ちになるでしょう。神の家族に、取るに足りない人などいません。これらのみことばから、賜物について神が何を私たちに望んでおられるか多くを学ぶことができます。神は私たちに賜物を託されました。そして、私たちが賢い管理者として与えられた賜物を用いることを求めておられます。

ペテロ第一 4:10 それぞれが賜物を受けているのですから、神のさまざまな恵みの良い管理者として、その賜物を用いて、互いに仕え合いなさい。

この箇所は、すべての人に奉仕のための特別な賜物が定められていると教えます。この教会では、霊の賜物についてたくさんの教えがなされてきました。どうか、自分の賜物や特別な才能を見つけてください。そして、神の御国の発展のために、とくにここ OIC でその賜物や才能を用いてください。

結び

管理とは、他の誰かが所有するものを扱うという意味です。その誰かとは神です。私たちに与えられたすべては、呼吸でさえも神のもので、私たちはこの事実を見過ごしてしまうことがあるようです。あらゆるものの管理は個人的な事柄ですが、私たちは教会という集合体として神に見ていただく必要があります。また、時間や宝、賜物を私たち教会がどのように用いるか神の御前に責任があります。こういうわけで、ささげられた献金を管理する人や、神のみことばの教えをひも解いてくれる人、または固有の賜物を用いることのできる場所を見つけてくれる人などが教会には与えられています。私たちの教会が健全な教会になるためには、私たちひとりひとりが良い管理者にならなければなりません。

祈り